避難確保計画チェックリスト（施設管理者用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック  対象施設名 |  | | チェック  担当者名 |  |
| 施設所在地のハザードの種類  （複数のハザードに該当する場合は、  すべてにチェック） | | □洪水浸水想定区域（河川名：　　　　　川）  □高潮浸水想定区域  □土砂災害警戒区域  □津波浸水想定区域 | | |
| 定めるべき  計画の項目 | チェック内容 | | | |
| 防災体制、情報の収集・伝達 | □施設周辺の浸水するおそれがある河川の情報、高潮、土砂災害、津波に関する情報及び市からの避難情報の情報を収集・伝達する体制が定められているか  □市から避難情報の発令があった場合、要配慮者の避難誘導を行う体制となっているか  □市から避難情報の発令がない場合でも避難の判断ができるよう、複数の判断材料が設定されているか（インターネットによる河川の水位情報の収集、がけ崩れの前兆現象の確認など） | | | |
| 避難誘導 | □避難先は、次のうち複数の場所を検討し、記載しているか  ・災害種別に対応した予定避難所  ・浸水想定区域・土砂災害警戒区域外の安全な場所（系列施設など）  ・施設内のより安全な場所（高いところ、がけと反対側の部屋など）  □避難経路はハザードマップ等の情報を踏まえた、実現可能なルート上に設定し、避難経路図を添付しているか  □必要に応じ、地域の協力が得られる体制が準備されているか(地域の協力を得られる体制が望ましいですが、地域の協力を得るのが困難である場合には、□の中に×を記載下さい。×の場合は「施設側の職員で対応する」こととしてとらえます。) | | | |
| 施設整備 | □災害に関する情報、避難情報等の情報を入手するための設備、機器が記載されているか  □夜間の避難に備えた資器材が記載されているか  □屋内安全確保を行う場合に備え、施設内での滞在に必要な物資が確保されているか | | | |
| 教育・訓練 | □適切な時期に必要な教育・訓練の実施が計画されているか | | | |
| 自衛水防組織 | □自衛水防組織が設置されている場合、その業務内容が規定され、計画に記載されているか（要配慮者利用施設は、設置は任意ですので、設置しない場合は□の中に×を記載下さい） | | | |
| 【備考欄】 | | | | |

※避難情報の発令とは、警戒レベル３高齢者等避難を指します。

【注意事項】

・避難確保計画の中にチェック項目の内容が含まれていれば、□の中に✔をお願いいたします。チェック項目で□の中に×の記載を認めていない項目については、全て✔がつくように、避難確保計画の作成下さい。施設の事情により✔をつけることができない場合は、備考欄に理由の記載をよろしくお願いいたします。